

ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画 [概要版]

本市では、河川空間とまち空間との融合による良好な空間形成に向けた国のかわまちづくり支援制度を活用するため、「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」を策定し、長良川の歴史や文化、景観を生かし、魅力的な水辺空間の形成に向けた取り組みを推進します。

◆かわまちづくりとは

「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取り組み

○「かわ」とそれに繋がる「まち」を活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの**「資源」**や地域の創意に富んだ**「知恵」**を活かし、市、民間事業者及び地元住民と**連携**し、地域の**「顔」**、そして、**「誇り」**となるような空間形成を目指す。

◆水辺利用の目的別による制度の特徴

国土交通省木曽川上流河川事務所説明資料より



◆以下、計画の内容について

1. 基本コンセプト

長良川の歴史、文化、景観を 1000 年先も継承し続ける持続可能な地域を目指して
～未来につなぐ岐阜市の財産・長良川～

2. 基本理念

- 長良川は、豊富な水量と良質な水質、濃尾平野の肥沃な大地による恵みを受継ぎ、岐阜の城下町は長良川の水運によって盛えてきたとともに、豊かな魚相が育まれ、恩恵を受ける。
- 鵜飼漁は代々継承され、1300 年以上も続く。その技術は、過去から脈々と受け継がれ、重要な観光事業として発展し、造船技術とともに伝統的な川文化が伝承されている。
- 多くの市民に親しまれ、岐阜市民の心の拠り所として住民と川との親水性が高い稀有な河川。
- 洪水により人々の生活を苦しめてきたという一面、観測史上最大流量を記録した平成 16 年の台風 23 号出水に対して十分な河道が整備されておらず、治水対策が長年の懸念。治水面の整備も欠かせない。
- 先人達から受け継いだ伝統・文化を踏まえつつ、今後も持続可能な地域資源として守り、新しい時代の川との付き合い方、水辺のにぎわいを創出することは将来に向け大切。
- 長良川の自然や人々の営みを物語る歴史や文化といった資源を磨き上げ、国内外に発信し、市民のシビックプライドの醸成と地域経済の活性化につながることで、1000 年先も継承し続ける魅力と賑わいに満ちた持続可能なかわまちづくりを推進。

3. 基本方針

- 基本理念の実現には、地域固有の資源や特徴を十分に活かしたかわまちづくりを推進していくことが重要。
- 持続可能な地域づくりの観点から、治水安全度の向上のための河川整備を進める。
- 金華山と長良川が形成される空間を、多くの市民が活用し、地域の交流の場とするとともに観光客にも幅広く親しまれ、地域経済にも寄与しうる有機的につながった場の実現を目指す。
 - ◆長良川が持つ地域資源や特性を活かしたかわまちづくりを推進するため、以下に示す 3 つを基本方針とする。
 - 「守る」：川がもつ本物の魅力と川文化を守る。
 - ・治水安全度を向上させ、出水から長良川文化を守る。
 - ・豊かな自然あふれる長良川を守り、後世に引き継ぐため、環境、景観等を保全していくとともに、川とともに暮らす中で生み出された岐阜独自の川文化を継承するかわまちづくりを推進。
 - 「親しむ」：川がもつ本物の魅力に親しむ。
 - ・長良川は、過去から現在も遊泳や語らいの場、美しい景観を望む場として多くの人々に利用されている。
 - ・多彩な野外活動の場として活用することで、川がもつ本物の魅力を生かし、その自然に親しむ安心・安全なかわまちづくりを推進。
 - 「創る」：川の新たな魅力を創る。
 - ・長良川鵜飼をはじめとした歴史・文化を今に伝え、金華山と長良川を背景に各種の新たな試みを通じて岐阜市の顔となり国内外に通用する魅力ある空間を創出するかわまちづくりを推進。

4. 対象地域

ぎふ長良川鵜飼水辺エリア（鵜飼い大橋辺りから長良橋下流付近）



5. 取組方針

- 基本方針を踏まえ、ソフト事業からハード整備事業を含む取り組みを地元や関係団体と連携し展開。
- 事業実施に際しては、民間事業者による公共空間の効果的な活用〔公民連携〕を推進し、各事業が有機的な結びつきを持ちながら、相乗効果による魅力向上に資するよう、面としての事業展開を図りつつ、市民にも来訪者にも親しまれる魅力ある「かわまちづくり」の実現に向け、その魅力を広く発信。

基本方針	取組方針
<div style="background-color: #ff00ff; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">守る</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○国と連携し長良川流域の文化の交流拠点として河川整備計画に基づいた河川整備に取り組む ○生態系をはじめ、自然環境や景観の保全に注視し、楽しむことのできる空間形成に取り組む ○地域の営みと調和し、歴史や文化を語り継ぐことのできる空間形成に取り組む
<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">親しむ</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○過去から脈々と受け継がれてきた川本来の魅力を知り、実感できる空間形成に取り組む ○川本来の魅力を、現代の志向に合わせた活用により、本物が息づく空間形成に取り組む
<div style="background-color: #00bfff; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">創る</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○現在の川の魅力に加え、新たな視点や隠れた魅力の掘り起こしなどにより、市民や観光客を迎える本市の顔としての空間形成に取り組む ○老若男女問わず、あらゆる人々が本市の魅力を実感し、繰り返し訪れていただけるよう、岐阜市の歴史・文化溢れる「まちなか」と「水辺」をつなぎ、一体感をもった空間形成に取り組む

6. 社会実験 ①

◆地域の文化とのふれあい+新たな鵜飼観覧

①長良川のある日常「かわべの宵（ゆうべ）」

■主催：岐阜商工会議所

■実施：10月4日

「長良川右岸プロムナード」を活用した新たな鵜飼観覧方法を見つけ出す社会実験。
市民ら参加者 230 人が伝統工芸品の岐阜提灯を片手に持ちながら人との距離を保ち、
ゆったりと散策、川辺から伝統漁法の魅力を堪能。



◆水辺の新しい可能性を創造

②アンドン夜市リバーサイド

■主催：長良川リバーズスケープLLP

■実施：10月15日

長良川右岸プロムナードで、鵜飼を川辺で眺めつつ、気軽に飲食ができるなどのサービスを提供し、多くの集客を狙う。当日は雑貨や飲食店の出店、特設栈敷ステージでのバンド演奏、舞妓らの舞の披露が行われた。



6. 社会実験 ②

◆コロナ禍における新たな生活様式に対応した鵜飼観覧

③水上座敷

■主催：岐阜市

■実施：10月4日、10月15日

川岸に観覧船を係留したまま、船上に観光客等を乗せて鵜飼を見る「水上座敷」を実施。

・参加人数：97人（10/4：52人 10/15：45人）



7. 推進体制

〈ぎふ長良川水辺空間活用協議会〉 (委員9名、オブザーバー2名)	〈シンキングチーム〉 (委員10名、オブザーバー2名)
岐阜市	NPO 法人 ORGAN
金華自治会連合会	NPO 法人長良川環境レンジャー協会
鵜飼屋景観まちづくり協議会	長良川リバースケープLLP
川原町まちづくり会	岐阜観光コンベンション協会
岐阜観光コンベンション協会	岐阜長良川温泉旅館協同組合
岐阜長良川温泉旅館協同組合	岐阜商工会議所
岐阜商工会議所	岐阜市土産品協会
長良川漁業協同組合	学識者
長良川鵜飼鵜匠	国土交通省木曾川上流河川事務所
国土交通省木曾川上流河川事務所	岐阜県商工労働部観光国際局
岐阜県商工労働部観光国際局	ぎふ魅力づくり推進部

8. ソフト施策

守る

川がもつ本物の魅力と川文化を守る

<新規施策>

- ・朝市・夜市(マルシェ)
- ・鵜飼棧敷、水上座敷
- ・川舟スクールの開校、川舟ラボの開講
- ・川漁師の育成
- ・船上の遊宴文化の継承

<継続施策>

- ・遊覧船・花見船運航
- ・鵜舟の船大工育成
- ・船頭体験教室
- ・世界農業遺産GIAHS結の日記念イベント
- ・環境学習、自然体験学習

親しむ

川がもつ本物の魅力に親しむ

<新規施策>

- ・SUP・カヤック等の水上アクティビティ
- ・両岸渡し船の運航

<継続施策>

- ・川原町・鵜飼まちたんけん
- ・レンタサイクル事業
- ・文化催事(こよみのよぶね等)
- ・世界農業遺産GIAHS結の日記念イベント
- ・環境学習、自然体験学習

創る

川の新たな魅力を創る

<新規施策>

- ・朝市・夜市(マルシェ)
- ・鵜飼棧敷、水上座敷
- ・地域の豊かな緑、自然環境を活かした「歴史文化・芸術」と「癒し」、「健康」、「学び」の体験
- ・川舟スクールの開校、川舟ラボの開講
- ・かわべの宵
- ・灯りの都・岐阜

<継続施策>

- ・クアオルト健康ウォーキング
- ・花火大会等
- ・遊覧船・花見船運航

これまでも多くの民間事業者やそれを取り巻く関係者により、多様な活動が行われています。これらの活動をもとにさらに魅力的な空間としてステップアップし、地域が誇るべき資源として確立するための取り組みを進めていきます。

9. ハード施策 整備①

整備内容名	水辺拠点の創出（河道掘削、砂礫河原広場、階段護岸、坂路整備 [土砂搬出、観覧船陸揚]、基盤整備 [テラス] 等）
事業主体	国：河道掘削、砂礫河原広場、階段護岸、坂路整備 [土砂搬出]、 基盤整備 [テラス] 等 市：坂路整備 [観覧船陸揚] 等
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾川水系河川整備計画において、洪水を安全に流下させるための水位低下対策として「河道掘削」、河川環境の整備と保全として「砂礫河原の再生」が位置づけられている。 ・河川整備の実施にあたっては、動植物の生息・生育・繁殖環境、景観、鵜飼、水辺利用、川漁師等に配慮する。 ・土砂搬出及び維持管理のための坂路を設置するとともに、水辺利用のためのテラス、テラスから水辺へアクセス可能な階段護岸・スロープ等を整備する。 ・整備実施後においては、土砂の再堆積、草地化や樹林化の進行をモニタリングし、適切な維持管理を行う。 ・既存の観覧船ドック最上流部と、国により整備が予定されている土砂搬出用坂路及び市が整備する予定の陸揚用坂路を接続することで鵜飼観覧船を低水路外に迅速に陸揚げする。 ・陸揚した船は、避難場所に退避させる。 ・人が歩きやすいように整備し、周遊性を高める。



◆ハード施策 整備②

整備内容名	長良川右岸プロムナード整備 (階段護岸の補修、電源等の整備)
事業主体	国：階段護岸の補修 市：電源等整備
整備概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栈敷や朝市・夜市（マルシェ）などが開催しやすいように階段護岸を補修する。 ・ 栈敷や朝市・夜市（マルシェ）などを開催する際の照明器具等電力の供給環境を整備する。

整備位置図



整備箇所

【階段補修】

【電源の確保】

整備前



整備後（イメージ）



◆ハード施策 整備③

整備内容名	旧いとう旅館整備
事業主体	市・民間等
整備概要	観光振興を通じた魅力向上や交流人口の増加に資する施設整備を行う

整備位置図



整備箇所

整備前



整備後（イメージ）



◆ソフト施策・ハード施策一覧

